

事業所名

KAPIRA SUPPORT ゾウさん

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年4月1日

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|---|----|-----|---------|---|--|-----|---------|----|
| 法人（事業所）理念 | | ひとりひとりの子どもの要求を大切にしながら、その子どもの特別な部分(特性)や困りごとを理解し、その子どもが持つ能力を最大限に伸ばすことができるよう支援します。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意思及び人格を尊重して常に子どもの立場に立って、自尊心、自己肯定感を育むために必要な支援を提供するよう努めます。 ・家庭との結びつきを重視し、協力、連携を取りながらお子様のため成長を支援していきます。 ・お子様の特性を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づき支援していきます。 | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 8 | 時 | 30 | 分から | 17 | 時 | 30 | 分まで | 送迎実施の有無 | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態の維持や改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得の支援をします。 食事、排泄、睡眠、着脱、身の回りを清潔にすることや、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、写真やカード等を使用してわかりやすく提示していきます。主たる幼稚園、保育園の生活リズムを崩さないように、療育時間の配分(頻度・曜日・回数)を考慮しつつ、サービスの提供の調整をします。 | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援します。 バランスボール、平均台、ジャンプあそびを通して、身体の使い方を学び運動の楽しさを知ると共に運動機能の向上に繋がります。 苦手な感覚があれば制作活動や遊びを通して少しずつ慣れていけるように支援していきます。 | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 認知の特性についての理解と対応、対応や外部環境の適切な行動の習慣、行動障害の予防及び対応を支援します。 大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるよう支援を行います。(始まりの日に日付、天気を確認します。) スモールステップで支援しながら“少し苦手なことも頑張ってみる”“着席して取り組む時間”等を伸ばしていきます。 | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 対人関係や遊び・経験・絵本などを通して、いろいろな気持ちを知り、コミュニケーションの向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用につなげていきます。 言葉だけではなく、指差しや身振り、ジェスチャーやサインなどの要求表現も活用しながら、“伝える”“自分から発信する”経験を増やしていきます。 | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 職員との玩具遊びやふれあい遊びなどを通して、楽しい気持ちを共有、共感しながら信頼関係を築きます。 興味関心を探り、自主性を尊重していきます。本人らしさを認めながら、様々なことへの意欲を引き出し、いけるよう関わります。 | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | ご家族に寄り添い、安心して生活が送れるよう、ご家族を支援していきます。 | | | | 移行支援 | | 幼稚園生活、就学に向け集団に沿った行動ができるよう、支援していきます。その中で本人の特性を探り、対応方法、支援内容を探っていきます。 | | | |
| 地域支援・地域連携 | | お子様の成長に見合った関係各所と連携を図っていきます。 | | | | 職員の質の向上 | | 外部研修やスキルアップ研修を通して、職員の質の向上を図ります。 | | | |
| 主な行事等 | | KAPIRA SUPPORT ゾウさんに通う保護者様同士がコミュニケーションのとれる場を作りたいと考えています。 | | | | | | | | | |